

科目名		単位数	年間時間数	教科書名	発行所	
国語総合(現代文)		2	70	精選 国語総合	三省堂	
教科担当者名						
学期	月	進度予定及び実施内容		備考		
		単元	節、項目など	留意点など		
		指導内容 【年間授業計画】		科目国語総合(現代文)の具体的な指導目標 【年間授業計画】		予定時数
1 学期	4	○小説「羅生門」 ○評論「水の東西」		<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の心情が情景描写にしばしば反映されることを理解する。また、情景描写から心情を読み取ることができる。情景や心情の変化に注意して、作品全体のストーリーをとらえることができる。 二項対立的展開に着目しつつ、それに縛られない多角的な視点で読みを深める。 	24	
	5					
	6					
	7					
2 学期	9	○随筆「待つ」ということ ○コインは円形か		<p>随筆を読んで、筆者のものの見方や感じ方を読み取る。時間の順序に注意しながら、本文を通読する。</p> <p>筆者の主張する「レトリック」の意味を的確につかむ。認識と表現の関係を、表現を中心に読み取らせる。</p>	28	
	10					
	11					
	12					
3 学期	1	○小説『なめとこ山の熊』 ○まとめ		<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の心理描写と、情景描写の関連性をみつけ、小説における表現方法への理解を深める。 論理的な文章、文学的な文章の読解について振り返り、自らが文章を表現する際に役立てられるようにする。 	18	
	2					
	3					
評価の観点		授業態度・小テスト・課題等を総合的に評価する。				

科目名		単位数	年間時間数	教科書名	発行所	
国語総合(古典)		2	60	精選 国語総合	三省堂	
教科担当者名						
学期	月	進捗予定及び実施内容		備考		
		単元	節、項目など	留意点など		
		指導内容 【年間授業計画】		科目「国語総合」の具体的な指導目標 【年間授業計画】		予定時数
1 学 期	4	○いろは歌・歴史的仮名遣い		<ul style="list-style-type: none"> 歴史的仮名遣いが適切に読めるようにする。 五十音やいろは歌を書くことができる。基本的な古典の知識を知り、声に出して古典の作品を読むことができる。 歴史的仮名遣いが適切に読めるようにする。 動詞の活用を学習し、理解を深める。 基本的な助動詞について理解する。 物語の展開を読み取り、人物の心情を理解する。 重要単語を中心に古文単語の小テストを実施し、用言を中心に古典文法の小テストを実施する。 	24	
	5	○児のそら寝『宇治拾遺物語』				
	6	○検非違使忠明『今昔物語集』				
	7	○ある人、弓射ること習ふに『徒然草』 ○かぐや姫の誕生『竹取物語』				
2 学 期	9	○筒井筒・東下り『伊勢物語』		<ul style="list-style-type: none"> 歴史的仮名遣いが適切に読めるようにする。 動詞の活用を学習し、理解を深める。 基本的な助動詞について理解する。 形容詞形容動詞の活用を学習し、理解を深める。 物語の展開を読み取り、人物の心情を理解する。 重要単語を中心に古文単語の小テストを実施し、用言を中心に古典文法の小テストを実施する。 	28	
	10	○門出『土佐日記』				
	11	○木曾の最後『平家物語』				
	12	○旅立ち『奥の細道』				
3 学 期	1	○蛇足(戦国策)		<ul style="list-style-type: none"> 漢文の基本を理解できる。訓読文から書き下し文へと書き直すことができる。 物語の展開を読み取り、内容を理解する。 和歌の朗詠・贈答の習慣、三大集を知る。また、正しく音読することができる。 	18	
	2	○和歌				
	3					
評価の観点	定期考査のほか、授業態度・小テスト・課題の取り組み状況を総合的に評価する。					

科目名		単位数	年間時間数	教科書名	発行所
地理A		2単位	70	地理A	東京書籍
教科担当者名					
寺田					
学期	月	進度予定及び実施内容		備考	
		単元	節、項目など	留意点など	
		指導内容 【年間授業計画】		科目地理Aの具体的な指導目標 【年間授業計画】	
1 学期	4	資料は何を語るのか 世界地図と日本地図 世界観	資料からさまざまなことが読み取れることを知る。 メンタルマップを描いて、自分自身の世界観を知る。 世界地図・覚えておきたい経線・緯線を知る。・6大陸や主要な島を知る。 日本地図・日本の領域を知る。・日本が抱えている領土問題が起きている島や地域を知る。 地図を見ることにより、その時々「世界観」や「人々の広がり」を知ることができることを理解する。	27	
	5	世界図 季節 標準時 緯度と経度 昼と夜 時差の計算	メルカトル図法・正距方位図法の特徴や用途を作業を通して理解する。 地球の自転や公転といった運動により、昼と夜や季節が発生することを理解する。 緯度と経度について理解する。標準時について理解する。時差について理解する。		
	6	地形図	地形図は等高線・地図記号・凹んだ地形の表現・尾根と谷・川の右岸と左岸・面積の測定・断面図・地図記号の見方を知る。 地形図を読み取る方法を知る。		
	7				
2 学期	9	地形 大地形 小地形 扇状地 氾濫原	プレートテクトニクスという考え方と大陸が動いているメカニズムを知る。 世界の陸地が、安定陸塊、古期造山帯、新期造山帯からなることを知り、新期造山帯では地震の発生や火山活動が多く見られることを知る。 世界の主な地形と日本の主な地形の特徴と人間生活との関わりについて知る。	27	
	10	気候要素 気候因子 気温 降水量 風 海流 植生と土壌 ケッペンの気候区分 サハラのからし シベリアのからし アマゾンのからし アンデスのからし	扇状地や氾濫原の地形図を活用し、扇状地や氾濫原の特徴と人間生活との関わりについて知る。 気候要素や気候因子、気温・降水量・風・海流について知る。 気候の違いと植生や土壌の違いや関係性を知る。 ケッペンの気候区分を学習し、熱帯、乾燥帯、温帯、亜寒帯(冷帯)、寒帯の分布を知る。 世界の諸地域の生活・文化について、自然環境の違いから見られる人々のくらしの違いを理解する。		
	11	地域区分 ブラジル	各国の統計データを比較し、人種・文化・輸出品など、さまざまな観点から地域を区分することで地域性を考える。 ブラジルの地誌を学習し、生活・文化について理解する。		
	12				
3 学期	1	アメリカ合衆国 中国 交通 発展途上国の交通 先進国の交通 日本の交通 情報 国家間の結び付き	アメリカ合衆国の地誌・中国の地誌を学習し、生活・文化について理解する。また、日本の生活・文化との共通性や異質性にも着目しながら、理解を深め、日本とのつながりについて関心をもつ。 主題図の見方を知る。 交通・通信で得た知識を活用し、国家間の結び付きや貿易について学習する。	16	
	2	宗教、民族と人間生活	三大世界宗教について、その分布を大観し、宗教と日常生活のかかわりについて理解するとともに、世界の主な言語や民族の分布を大観し知る。		
	3				
評価の 観点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度・出席回数・提出物・授業への貢献度などの関心・意欲・態度はどうか ・自分の意見・考えを記述することで表現力はついたか ・定期考査による知識・理解はあるか 				

科目名		単位数	年間時間数	教科書名	発行所
数学 I		3	105	新編 数学 I	数研出版
学期	月	進捗予定及び実施内容		備考	
		単元	節、項目など	留意点など	
		指導内容 【年間授業計画】		数学 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	
1 学期	4	第1章 数と式 第1節 式の計算 1. 整式の加法と減法 2. 整式の乗法 3. 因数分解	<ul style="list-style-type: none"> ・単項式や多項式、整式、同類項、次数について理解している。 ・指数法則を理解し、計算に用いることができる。 ・展開の公式を利用することができる。 ・因数分解の公式を利用することができる。 	40	
	5	第2節 実数 4. 実数 5. 根号を含む計算	<ul style="list-style-type: none"> ・有理数と無理数の違い、および実数について理解する。 ・循環小数を表す記号を用いて、分数を循環小数で表すことができる。 ・実数を数直線上の点の座標としてとらえることができる。 ・絶対値の意味と記号表示を理解している。 ・平方根の意味・性質を理解している。 		
	6	第3節 1次不等式 6. 不等式の性質 7. 1次不等式 8. 絶対値を含む方程式・不等式	<ul style="list-style-type: none"> ・連立不等式の意味を理解し、連立1次不等式を解くことができる。 ・絶対値の意味から、絶対値を含む方程式、不等式を解くことができる。 ・絶対値記号を含む式について、絶対値記号をはずす処理ができる。 		
	7	第4節 集合と命題 10. 命題と条件 11. 命題とその逆・対偶・裏 12. 命題と証明	<ul style="list-style-type: none"> ・命題の真偽を、集合の包含関係に結びつけてとらえることができる。 ・条件と集合の関係を理解し、必要条件、十分条件、必要十分条件を集合の関係でとらえることができる。 ・命題の逆・裏・対偶の定義と意味を理解しており、それらの真偽を調べることができる。 		
2 学期	9	第2章 2次関数 第1節 2次関数とそのグラフ 1. 関数とグラフ 2. 2次関数のグラフ 3. 2次関数の最大・最小	<ul style="list-style-type: none"> ・$y=f(x)$や$f(a)$の表記を理解しており、用いることができる。 ・平方完成を利用して2次関数のグラフの軸と頂点を調べ、グラフをかくことができる。 ・$y=a(x-p)^2+q$の形にして、最大値、最小値を求めることができる。 	40	
	10	第2節 2次関数の値の変化 4. 2次関数の決定 5. 2次方程式 6. 2次関数のグラフとx軸の位置関係	<ul style="list-style-type: none"> ・2次関数の定義域に制限がある場合に、最大値、最小値が求められる。 ・2次関数の決定において、条件を処理するのに適した式の形を使うことができる。 ・2次方程式の解の考察において、判別式$D=b^2-4ac$の符号と実数解の関係を理解し、利用することができる。 ・2次関数のグラフとx軸の共有点の個数を求めることができる。 ・2次不等式を解くことができる。 		
	11	第3節 2次方程式と2次不等式 7. 2次不等式	<ul style="list-style-type: none"> ・直角三角形において、正弦・余弦・正接が求められる。 ・三角比の表から$\sin \theta$、$\cos \theta$、$\tan \theta$の値を読み取ることができる。 		
	12	第3章 図形と計量 第1節 三角比 1. 三角比	<ul style="list-style-type: none"> ・三角比の相互関係を利用して、1つの値から残りの値が求められる。 ・$\sin(90^\circ - \theta) = \cos \theta$などの公式を利用することができる。 ・$\sin(180^\circ - \theta) = \sin \theta$などの公式を利用することができる。 ・座標を用いた三角比の定義を理解し、三角比の値からθを求めることができる。 ・三角比が与えられたときのθを求める際に、図を積極的に利用しようとする。 		
3 学期	1	第2節 三角形への応用 4. 正弦定理 5. 余弦定理 6. 正弦定理と余弦定理の応用	<ul style="list-style-type: none"> ・正弦定理や余弦定理を利用して、三角形の辺の長さ、角の大きさが求められる。 ・余弦定理や正弦定理を用いて、三角形の残りの辺の長さや角の大きさを求めることができる。 	25	
	2	7. 三角形の面積 8. 空間図形への応用 第4章 データの分析 1. データの整理	<ul style="list-style-type: none"> ・三角比を用いた三角形の面積公式を理解している。 		
	3	2. データの代表値 3. データの散らばりと四分位数 4. 分散と標準偏差 5. データの相関	<ul style="list-style-type: none"> ・平均値や中央値、最頻値の定義や意味を理解し、それらを求めることができる。 ・データの分布の仕方によっては、代表値として平均値を用いることが必ずしも適切でないことを理解している。 ・箱ひげ図をかき、データの分布を比較することができる。 		
評価の観点	①定期考査 ②提出物(考査課題、休業中課題、授業ノート等) ③授業への取り組み				

科目名		単位数	年間時間数	教科書名	発行所
数学A		2	70	新編 数学A	数研出版
学期	月	進度予定及び実施内容		備考	
		単元	節、項目など	留意点など	
		指導内容 【年間授業計画】		数学Aの具体的な指導目標 【年間授業計画】	
1 学期	4	準備 集合 第1章 場合の数と確率 準備 集合とその要素	<ul style="list-style-type: none"> 集合やその要素について理解し、集合を2通りの方法で表すことができる。 和集合や補集合について理解し、その要素の個数を求めることができる。 		25
	5	1 集合の要素の個数 2 場合の数	<ul style="list-style-type: none"> ベン図を利用して集合を図示することで、要素の個数を考察することができる。 和集合、補集合の要素の個数の公式を利用できる。 樹形図を用いて場合の数を求めることができる。 		
	6	3 順列 4 組合せ	<ul style="list-style-type: none"> 順列、円順列、重複順列の公式を理解し、利用することができる。 条件が付く順列、円順列を、見方を変え対応するなどして処理することができる。 組合せの公式を理解し、利用することができる。 組合せに条件が付く場合に、条件の処理の仕方を理解している。 同じものを含む順列を組合せで考察することができる。 		
	7	第2節 確率 5 事象と確率 6 確率の基本性質	<ul style="list-style-type: none"> 積事象、和事象の定義を理解している。 集合の性質を用いて、確率の性質を一般的に考察することができる。 確率の性質を理解し、和事象、余事象の確率の求め方がわかる。 確率の計算に集合を活用し、複雑な事象の確率も求めることができる。 		
2 学期	9	7 順列・組合せを用いた確率	<ul style="list-style-type: none"> 積事象、和事象の定義を理解している。 集合の性質を用いて、確率の性質を一般的に考察することができる。 確率の性質を理解し、和事象、余事象の確率の求め方がわかる。 確率の計算に集合を活用し、複雑な事象の確率も求めることができる。 		25
	10	8 独立な思考と確率 9 条件付き確率	<ul style="list-style-type: none"> 独立な試行の確率を、公式を用いて求めることができる。 反復試行の確率を、公式を用いて求めることができる。 条件付き確率を、記号を用いて表すことができる。 条件付き確率の式から確率の乗法定理の等式を導くことができる。 条件付き確率や確率の乗法定理を用いて確率の計算ができる。 		
	11	第3章 整数の性質 1 約数と倍数 2 最大公約数・最小公倍数	<ul style="list-style-type: none"> 自然数の素因数分解を求めることができる。 自然数の正の約数やその個数を求めるのに、素因数分解が利用できることを理解している。 素因数分解を利用して最大公約数・最小公倍数を求める方法を理解している。 		
	12	3 整数の割り算と商・余り 4 ユークリッドの互除法	<ul style="list-style-type: none"> 2つの整数a, bを除数と余りを用いて表し、$a+b$などの余りを求めることができる。 互除法の原理を理解し、互除法を用いて2数の最大公約数を求めることができる。 		
3 学期	1	第2章 図形の性質 第1節 平面図形 1 三角形の辺の比 2 三角形の外心・内心・重心 3 チェバの定理・メネラウスの定理	<ul style="list-style-type: none"> 線分の内分・外分、平行線と比などの基本事項を理解している。 定理を適切に利用して、線分の比や長さを求めることができる。 性質を証明するのに、既習事項を用いて論理的に考察できる。 三角形の外心、内心、重心の定義、性質を理解している。 チェバ・メネラウスの定理を用いて三角形に現れる線分比を求めることができる。 		20
	2	4 円に内接する四角形 5 円と直線 6 2つの円	<ul style="list-style-type: none"> 円に内接する四角形の性質を利用して、角度を求めることができる。 接弦定理を利用して、角の大きさを求めることができる。 方べきの定理を理解している。 2つの円の位置関係と、中心間の距離と半径の関係を積極的に考察しようとする。 共通接線の定義を理解し、その長さの求め方がわかる。 		
	3	第2節 空間図形 8 直線と平面 9 空間図形と多面体	<ul style="list-style-type: none"> 空間における直線と平面が垂直になるための条件を、与えられた立体に当てはめて考察できる。 正多面体の特徴を理解し、それに基づいて面、頂点、辺の数を求めることができる。 正多面体どうしの関係を利用して、正多面体の体積を求めることができる。 		
評価の観点	①定期考査 ②提出物(考査課題、休業中課題、授業ノート等) ③授業への取り組み				

学 年	科 目 名	単 位 数	時 間 数
第 1 学 年	体 育 (男 子)	3単位	105時間

(○)必修科目 ()に○をつけてください
 ()必修選択科目
 ()自由選択科目

期	進 度 予 定 及 び 実 施 内 容	備 考
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 測定 <ul style="list-style-type: none"> 握力 上体起こし 長座体前屈 反復横とび 50m走 1500m走 立ち幅跳び ハンドボール投げ 体育的行事練習 	<ul style="list-style-type: none"> 武道 (剣道) 剣道 <ul style="list-style-type: none"> 礼法 構え 基本動作
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 水 泳 <ul style="list-style-type: none"> 各種泳法の基本 長時間泳 タイム測定 バドミントン <ul style="list-style-type: none"> 基本技能 ルールの理解 シングルスゲーム ダブルスゲーム 	<ul style="list-style-type: none"> 剣道 <ul style="list-style-type: none"> 基本技
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 持久走 <ul style="list-style-type: none"> インターバル トレーニング ペース走 記録会 等 	<ul style="list-style-type: none"> 剣道 <ul style="list-style-type: none"> 応用技

評 価 の 観 点
高等学校の体育に慣れることができたか。 筋力アップと基礎体力の充実をはかることができたか。 各種スポーツのルールと技術の理解を深めることができたか。

学 年	科 目 名	単 位 数	時 間 数
第 1 学 年	体 育 (女 子)	3単位	105時間

(○)必修科目 ()に○をつけてください

()必修選択科目

()自由選択科目

期	進 度 予 定 及 び 実 施 内 容	備 考
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・測定 握力 上体起こし 長座体前屈 反復横とび 50m走 1500m走 立ち幅跳び ハンドボール投げ ・体育的行事練習 □ 	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟体操 ・体ほぐし運動 ・基本動作練習 ・リズム運動 □
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・水 泳 各種泳法の基本 長時間泳 タイム測定 ・バスケットボール ドリブルシュート ランニングシュート ツーマンパス 3対3 ゲームへの発展 ・縄跳び 検定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンス 表現の工夫 創作ダンス作成
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・持久走 インターバル トレーニング ペース走 記録会 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンス 作品創作 作品発表 鑑賞

評 価 の 観 点
<p>高等学校の体育に慣れることができたか。</p> <p>健康の保持増進と体力の向上を図り、心身共に健康で安全な生活を営む態度を養うことができたか。</p>

学 年	科 目 名	単 位 数	時 間 数
第 1 学 年	保 健	1 単 位	35 時 間

(○)必修科目 ()に○をつけてください

()必修選択科目

()自由選択科目

期	進 度 予 定 及 び 実 施 内 容	備 考
1 学 期	現代社会と健康 ・健康水準と健康問題 ・保健活動と対策 ・生活習慣病と日常の生活行動 ・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康 ・医薬品と健康 * 期末考査	
2 学 期	現代社会と健康 ・感染症とその予防 ・エイズとその予防 ・健康に関わる意志決定と行動選択 ・欲求と適応機制 ・心身の相関とストレス ・ストレスへの対処 ・自己実現 * 期末考査	
3 学 期	現代社会と健康 ・交通事故の現状をふまえた安全な 交通安全社会づくり ・応急手当 * 学年末考査	

使用教科書について	
書名	現代高等保健体育改訂版
著作者	和唐 正勝 他
発行所	大修館書店
検定日	H28年2月17日

評 価 の 観 点
健康の意義を知り、日常生活から健全な行動ができるようになったか。

科目名		単位数	時間数	教科書名	発行所
音楽Ⅰ		2	70	MOUSA 1	教育芸術社
学期	月	進度予定及び実施内容		備考	
		単元 節、項目など 指導内容		留意点など 科目「音楽Ⅰ」の具体的な指導目標	
		【年間授業計画】		【年間授業計画】	
1 学期	4	○ 歌唱 「校歌」		・気持ちを開放して大きな声を出せるようにする	
	5	○ 音符の長さの理解 リズムソルフェージュ、聴音(メロディー)		・楽譜が読めるように少しずつ学ばせる ・楽しく正しく打てるように指導する	
	6	○ 器楽 ギター演奏の基礎 基本コード		・構え方や調弦の方法等の基礎を学ぶ	
	7	○ 音楽理論 英音名について		・適宜実技テスト、筆記テストで確認する	
2 学期	9	○ 混声合唱 「ぼくはぼく」		・パート練習を自発的に出来るように指導、援助する ・合格したらスタンプをもらい先に進むという	
	10	○ 器楽 キーボード演奏 基本コードを用いて弾き語		やりかたでやる気を喚起する ・楽器や演奏効果を知る	
	11	○ 合奏 グループ活動		・ハンドベル等を用い、音符の理解と関連させる。 またグループで協力する大切さを学ばせる。	
	12	○ 鑑賞 バレエ「くるみ割人形」			
3 学期	1	○ 混声合唱		・声部どうしのバランスや強弱等にも注意 できるように指導する。	
	2	○ 自由発表(グループ活動)		・自分たちで組んだグループの好みや実力 に合った1曲を選び発表する	
	3			・鑑賞の態度も養う	
評価 の観点	・授業への参加状況(出席、意欲)・実技能力の向上				・提出物・小テスト等

科目名		単位数	時間数	教科書名	発行所
美術 I		2単位	70	美術 I	光村図書
教科担当者名					
足立嘉之					
学期	月	進捗予定及び実施内容		備考	
		単元	節、項目など	留意点など	
		指導内容 【年間授業計画】		科目「美術 I」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	
1 学期	4	導入・オリエンテーション 鑑賞1・画家の精神と表現「ゴッホ・ピカソ・ルソーなどの作品を見る」 パネル水張り作業の指導		実技演習 アイデアスケッチ 作品提出 自己評価	26
	5	課題1・鉛筆デッサン「手を描く」 課題2・ポスターの制作「明るい選挙・投票を呼び掛けるポスター」			
	6	課題2・平面構成「基礎的図形による色彩構成」			
	7				
2 学期	9	課題3・立体デザイン(立体を分割する)		実技演習 アイデアスケッチ 作品提出 自己評価	26
	10				
	11	課題4・スプーン制作			
	12				
3 学期	1	課題4・平面デザイン「彩色表の作成」		実技演習 アイデアスケッチ 作品提出 自己評価	18
	2				
	3				
評価 の観点	・授業への参加状況 (出席、授業態度等) ・鑑賞 以上から総合的に評価する。		・実技および演習 各課題ごとに評価の観点を示す	・提出物 プリント、制作計画、アイデアスケッチなども含む	

科目名		単位数	時間数	教科書名	発行所
書道 I		2	70	書 I	光村図書
学期	月	進度予定及び実施内容		備考	
		単元	節、項目など	留意点など	
		指導内容 【年間授業計画】		科目「書道 I」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	
1 学期	4	①はじめに 一. 書道の世界にふれよう 二. 表現の違いを知ろう 三. 自分の表現につなげよう ②漢字の書に親しもう 一. 漢字の書体の変遷を知ろう 二. 楷書を学ぼう		○国語科書写と芸術科書道の違いを理解させる。 ○用具・用材と表現との関係を把握させる。 ○臨書について知識を持たせる。 ○漢字の書体の変遷について知識を持たせる。 ○「孔子廟堂碑」「九成宮醴泉銘」「雁塔聖教序」「顔氏家廟碑」「牛橛造像記」「鄭義下碑」を鑑賞し、特徴を把握する。 ○臨書することにより「多様な表現美」に気付かせる。	
	5				
	6				
	7				
2 学期	9	二、行書を学ぼう ⑤暮らしのなかの書 書を生活に取り入れよう		○行書を知り、その特徴を理解する。 ○「蘭亭序」と行書の王羲之について知識を持たせる。 ○鑑賞、臨書し、理解を深める。 ○学習したことを日常生活に生かす。 ○葉書の書式を知る。	
	10				
	11				
	12				
3 学期	1	③仮名の書に親しもう 一. 仮名を知ろう 二. 仮名の基本を学ぼう 三. 古筆から学ぼう ④漢字仮名交じりの書に親しもう 二. 漢字仮名交じりの書を学ぼう 四. 創作しよう		○仮名の成立過程を知る。 ○仮名の基本的な用筆を知り、表現する。 ○古筆を鑑賞、臨書し、仮名の多様な美を知る。 ○漢字仮名交じりの書について知識を持つ。 ○創作過程を知り、それによって作品を完成させ、一年のまとめとする。	
	2				
	3				
評価 の観点	課題作品と平常の学習活動を総合的に判断して評価する。				

科目名		単位数	年間時間数	教科書名	発行所		
英語表現 I		2	70	Vivid English Expression I New Edition	第一学習社		
教科担当者名							
高橋・杉田・高野・星・安田(5月よりデルコート)							
学期	月	進捗予定及び実施内容		備考			
		単元	節、項目など	留意点など			
		指導内容 【年間授業計画】		英語表現 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】		予定時数	
1 学期	4	『Vivid English Expression I』 Lesson 1 Hello Everyone ! Lesson 2 She is from Canada Lesson 3 My School Life Lesson 4 We Enjoy Club Activities		* ALTとのTTを通じて、コミュニケーション能力や意欲を高める。			26
	5	Lesson 5 My Hobby Lesson 6 My Trip to Australia Lesson 7 Today's Weather Forecast		* 基礎的な文法事項を学び、それらを使って			
	6	および教科書準拠Workbook とプレップイングリッシュ の上記に対応する部分		英語で表現する力を養う。			
	7						
2 学期	9	『Vivid English Expression I』 Lesson 8 Let's have a Party ! Lesson 9 Let's Enjoy Cooking! Lesson 10 What's the Matter ? Lesson 11 A New Ballpark		* ALTとのTTを通じて、コミュニケーション能力や意欲を高める。		26	
	10	Lesson 12 What's the Matter? Lesson 13 Online Information Lesson 14 Out of Fashion		* 基礎的な文法事項を学び、それらを使って			
	11	および教科書準拠Workbookとプレップイングリッシュの 上記に対応する部分		英語で表現する力を養う。			
	12						
3 学期	1	『Vivid English Expression I』 Lesson 15 My Father is a Good Cook Lesson 16 School Festival Lesson 17 Doing a Homestay		* ALTとのTTを通じて、コミュニケーション能力や意欲を高める。		18	
	2	Lesson 18 Our National Sport Lesson 19 Let's Clean the River! Lesson 20 Events in My Town Lesson 21 I Have a Foreign Friend Lesson 22 My Future Dream		* 基礎的な文法事項を学び、それらを使って英語で表現する力を養う。			
	3	および教科書準拠Workbook とプレップイングリッシュ の上記に対応する部分					
評価の観点	・定期考査 ・小テスト ・授業態度 ・授業への参加(出席、取り組み等) ・ワーク(ノート)、課題等の提出 上記の点を総合的に評価する。						

科目名		単位数	年間時間数	教科書名	発行所	
コミュニケーション英語Ⅰ		3	105	My Way English CommunicationⅠ	三省堂	
教科担当者名						
高橋・杉田						
学期	月	進捗予定及び実施内容		備考		
		単元	節、項目など	留意点など		
		指導内容 【年間授業計画】		コミュニケーション英語Ⅰの具体的な指導目標 【年間授業計画】		
1 学 期	4	Lesson 1 A Story about Names Lesson 2 Messages from Yanase Takashi Lesson 3 Purposes of the Olympics Lesson 4 Hospital Art		L1:各国の名前をめぐる事情の違いについて認識を深めさせる。 L2:真のヒーロー像と平和・幸福について考えさせる。 L3:オリンピックの基礎知識を学びへの関心を高める。 L4:病院における芸術を鑑賞させる。 学ぶ文法項目 SV / SVO / SVC / SVO1O2/SVOC / SVO(O=that節) / 比較級・最上級 助動詞 / 受け身 / 助動詞のついた受け身 現在進行形 / 現在完了形 / 過去完了形		39
	5					
	6					
	7					
2 学 期	9	Lesson 5 Writing Systems in the World Lesson 6 Washoku—Traditional Japanese Dishes Lesson 7 From Landmines to Herbs Lesson 8 A Mysterious Object from the Past		L5:世界の言語や文字についての認識を深めさせる。 L6:和食の特徴についての説明文を的確に読み取らせる。 L7:地雷問題とその跡地活用について認識を深めさせる。 L8:未知の物体と文明の発達について考えさせる。 学ぶ文法項目 動名詞 / to不定詞 / It is ... to不定詞 関係代名詞 / SVO1O2(O2=how to ~) 現在分詞の形容詞的用法 / 過去分詞の形容詞的用法 / 分詞構文 / 関係副詞 / It is ... that ~		39
	10					
	11					
	12					
3 学 期	1	Lesson 9 Sesame Street Lesson 10 Heritages of Beatrix Potter		L9:平等や多様性という概念を理解し、各国の諸状況についての認識を深めさせる。 L10:ポターの湖水地方への思いを読み取り環境保護のため自分ができることを考えさせる。 学ぶ文法項目 if節 / 仮定法過去 / I wish ~ / as if ~ SVO + to不定詞 / SVOC(C=動詞の原形,現在分詞) / SVO1O2(O2=if / whether節)		27
	2					
	3					
評価の観点	・定期考査 ・小テスト ・授業態度 ・授業への参加(出席、取り組み等) ・ワーク(ノート)、課題等の提出 上記の点を総合的に評価する。					

科目名		単位数	年間時間数	教科書名	発行所	
家庭総合		2	70	家庭総合 自立・共生・創造	東京書籍	
教科担当者名						
野村 知世						
学期	月	進度予定及び実施内容		備考		
		単元	節、項目など	留意点など		
		指導内容 【年間授業計画】		具体的な指導目標 【年間授業計画】		予定時数
1 学期	4	1章 自分らしい人生をつくる 1. 私たちの生き方と課題 2. 家族・家庭と社会とのかかわり 家族と家庭について自分の家族を例に学ぶ。 ・家族とは家庭とは ・人生設計シートの作成と一生について ・家族に関する法律と社会保障制度		・Society5.0の中で人生100年時代をよりよく生きるための生活設計について客観的視野をもって考える。 ・心や知性などの精神面において、人間は生涯をとおして発達していく存在であることを認識する。 ・青年期の自立には、おもに生活的自立、精神的自立、経済的自立、性的自立があることを知る。 ・男女平等および男女共同参画に向けて、日本国憲法や民法について基本的な理解をはかる。 ・世帯の動向にみられる特徴とそれを規定する社会的要因を分析し、検討する。		
	5	3章 高齢社会をいきる 1. 高齢期をどう生きるか ・高齢者の特徴とインスタントシニア体験		・高齢社会を迎え、私たちにとって高齢者の存在がかかわりの深いものになってきたこと、豊かな生活経験をもつ高齢者から学ぶことが多いことなどについて理解する。		
	6	2. 高齢者の生活と福祉		・高齢社会の現状を知る。 ・老いるとは何か、高齢者疑似体験をから、高齢者の身体的・精神的特徴を知る。 ・高齢社会の中で、自分たちに何ができるか考え、行動する。		
	7					
2 学期	9	第7章 衣生活をつくる 1. 人と衣生活 衣服の機能と衣生活の課題について考える。 ・保健衛生的機能と社会的機能		・被服の機能には、保健衛生的機能と、社会的・文化的機能があることを理解する。 ・被服材料の大部分をしめる布について、その原料である繊維の種類と特徴を理解する。 ・被服製作の手順を理解し、必要な基礎的な知識・技術を身につける。		26
	10	2. 被服材料 被服材料の種類と性能について学ぶ。 3. 被服の選択と管理 被服の手入れと保管方法について学ぶ。 ・洗剤のメカニズムとクリーニング実験		・被服を購入する際には、品質表示をもとに調べることの重要性を理解する。 ・取り扱い絵表示の種類と意味、サイズ表示の見方について理解する。		
	11	4. 被服の構成と製作 エプロンの製作。被服の構成と道具の扱い方を学ぶ。		・洗濯方法の特性を理解したうえで、品質に応じて洗濯することを学習する。		
	12					
3 学期	1	第8章 住生活をつくる 1. 快適な住まいと生活 2. 住生活の計画と洗濯 3. 住生活の文化と知恵		・人にとってなぜ住まいが必要なのか、住まいの発生をさかのぼって考える。 ・日本の各地にみられる特徴的な住まいを比較し、住まいは、条件の異なる地域の気候や風土に応じてつくられたことを理解する。 ・沖縄の住宅を例に挙げ修学旅行と関連して地域の特色を理解する。		18
	2			・住まいは、人が何十年も暮らすものであり、だれでもどんな状況でも快適にすごせるような、住まいの必要条件を考える。		
	3					
評価 の観点	定期考査・課題提出・出席状況・授業態度等を総合的に評価する。 *1クラス2展開のため前後半で内容を入れ替える。					

科目名		単位数	年間時間数	教科書名	発行所	
社会と情報		2	70	最新社会と情報	実教出版	
教科担当者名						
野村						
学期	月	進度予定及び実施内容		備考		
		単元	節、項目など	留意点など		
		指導内容「社会と情報」 【年間授業計画】		科目「社会と情報」の具体的な指導目標 【年間授業計画】		予定時数
1 学期	4	○情報と情報社会 身の回りの情報機器と技術の進歩 デジタルデバイド(情報格差) ○情報社会のなかの個人 テクノストレス		情報や情報社会についての特徴を理解する インターネットの特質と個人の責任について理解する コンピュータの健康への影響や情報格差への対応を理解する		26
	5	○情報モラル ネットワーク上のコミュニケーション ○個人情報と法制度 個人情報保護法、プライバシー権 ○コンピュータの構成と歴史		情報モラルの具体的な事例について考えることができる。 具体的な事例をもとに個人情報保護の制度と様々な権利を理解する。 コンピュータの構成について学び、変遷について学ぶ。		
	6	○コンピュータが働くしくみ		基数変換の方法を理解し、実践することができる。 アナログ量とデジタル量について理解する。 デジタル化の手順を理解する。 コンピュータの基本操作を理解し、実践することができる。		
	7	○コンピュータの活用(Word実習) 図形描画、文書レイアウト ○1学期の総復習		文書作成ソフトウェアを工夫して操作することができる。 文字列の設定を学び、文書レイアウトを学ぶ。 図形描画を学び、読みやすい資料の作成を実践する。		
2 学期	9	○コンピュータの活用(PowerPoint実習) ○知的財産権		プレゼンテーション作成ソフトウェアを工夫して用いることができる。 知的財産権・著作権について理解する。 スライド作成の際に著作権に配慮する。		26
	10	○コンピュータの活用(PowerPoint実習)		プレゼンテーション作成ソフトウェアを工夫して操作することができる。 テーマに沿ったプレゼンテーションを作成することができる。		
	11	○情報伝達の歴史 文字、印刷技術、郵便制度、ネットワーク ARPANETからインターネットまで		情報伝達手段の発達について理解し、現代の情報伝達手段において情報 通信ネットワークが果たしている役割について理解することができる。		
	12	○情報通信ネットワーク 回線交換方式、パケット交換方式 IPアドレス、TCP/IP、OSI参照モデル ○2学期の総復習		回線交換方式とパケット交換方式の違いについて理解し、その性質につい て長所と短所を理解することができる。 通信プロトコルの事例から、データの送受信について理解する。		
3 学期	1	○WEBとWEBページ ドメイン、WWW ○コンピュータの活用(Excel実習) セルの書式設定、SUM、AVERAGE、MAX、MIN関数 オートフィル機能		WWWについて学び、ブラウザでWEBページを表示する仕組みについて理解 し、実践することができる。 表計算ソフトウェアの基本操作について実践できる。		18
	2	○情報実習(情報セキュリティ)		情報セキュリティについて学び、内容をまとめ、説明することができる。 実習を通じて人に伝わるように工夫をすることができ、スライドを作成する ことができる。		
	3	○情報実習(情報セキュリティ)				
評価 の観点	定期考査の結果、実習点(作品点・レポート点)、課題点、平常の学習活動について総合的に判断して評価する。					